

『Mind Charging』

第 156 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 11 月 18 日

西野亮廣(キングコング)の名言



僕たちは、今この瞬間に未来を変えることはできないけれど、過去を変えることはできる。

これは西野さんが近畿大学の卒業式のスピーチで学生にかけた言葉です。『え？逆でしょ？未来は変えられるけど過去は変えられないでしょ？』と思いますよね。しかし、彼によると過去は変えられるというのです。彼はこの言葉を使う前に『過去を、例えば僕の場合ならネタにしてしまえば、あのネガティブだった過去が俄然、輝き出すわけです』と話しました。ネガティブな過去というイメージは失敗や苦い思いをしたことなどが挙げられますが、お笑い芸人である彼はそのエピソードを『ネタ』として使うことにより、視聴者や会場に詰めかけたファンに笑ってもらうことで『浄化』するわけです。すると、その時に抱いたネガティブな感情は、『あの出来事があってよかった』というポジティブに捉えられる過去に“変わる”ということです。

このコラムでも何度も『失敗(経験)を繰り返しながら、その先にある成功を掴み取る』ということを述べていますが、伝えたい意味としては全く同じことです。例えば中学生時代に部活の練習試合などで負けが続き、厳しい練習やトレーニングで追い込まれながら頑張ったものの、結果には結びつかなかったが、高校に入ってから上がった体力と中学生時代から培った努力によって活躍してチームの優勝も経験できたとしたら、その瞬間を迎えるまでは『高校でもダメかも・・・』と諦めムードに引っ張られそうになる理由だった中学生時代が『あの時に悔しい経験をしたからこそ今がある！』と感謝できるようになるのではないのでしょうか。もしかしたら優勝インタビューで最高の気分のはずなのにコメントは最低だった頃の話をするくらいの出来事になるかもしれません。そういう意味ではやはり過去を変えることは可能なようです。

彼は他にも『人生に失敗など存在しない』という言葉も残っています。試行錯誤を繰り返しながら何度も諦めずに様々なことに果敢に挑戦する姿勢を持ち続ける人には本当に失敗など存在しないと思います。今のうちに正智深谷でより多くの経験をして人生の肥やしにしていきましょう！(編集委員：入試広報室 鈴木)

西野 亮廣(にしの あきひろ、1980年(昭和55年)7月3日 -)は、日本のお笑いタレント・絵本作家・著作家(兵庫県川西市出身、兵庫県立川西緑台高等学校卒業)。漫才コンビ・キングコングのツッコミ担当(相手は梶原雄太)。絵本作家としてのペンネームはにしの あきひろ(身長 173cm、体重 57kg)。(Wikipedia 参照)